

2026年度キャプテン杯

予 選 : 2026年11月8日(日)
1 回 戦 : 2026年11月12日(木)
2 回 戦 ~ 決 勝 : 2026年11月19日(木)

本競技は、日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則(2023年1月施行)と、このローカルルールと競技の条件を適用する。
下記に参照するローカルルールの全文については2023年1月発行の「ゴルフ規則のオフィシャルガイド」を参照すること。
別途規定されている場合、ローカルルールの違反の罰は一般の罰(ストロークプレーでは2打罰)

ローカルルール

1. **アウトオブバウンズ(規則18.2)**
アウトオブバウンズは白杭または白線で定める(定義「アウトオブバウンズ」参照)。
2. **ペナルティーエリア(規則17)**
 - (a) ペナルティーエリアの限界が片側だけ定められている場合、そのペナルティーエリアは無限に広がっているものとみなす。
 - (b) ペナルティーエリアの限界の一部がアウトオブバウンズの境界で定められている場合、その限界はアウトオブバウンズの境界と一致する。
3. **異常なコース状態(動かさない障害物を含む)(規則16)**
 - (a) 修理地
 - 1) 修理地は白線と青杭で標示する(定義「修理地」参照)。
 - 2) 張芝の継ぎ目:ローカルルールひな型F-7を適用する。
 - 3) パッティンググリーンの前後のペイントマークと、ジェネラルエリアの芝草を短く刈ってある区域にあるヤーデージマーキングペイントが球のライ、意図するスイング区域の障害となる場合(スタンスの障害は除く)、規則16.1に基づく救済を受けることができる。
 - (b) 動かさない障害物
 - 1) 場内整理用の縄張り施設は障害物とみなす。
 - 2) 排水溝は動かさない障害物とみなす。
 - 3) 動かさない障害物に接している他の動かさない障害物は一体の動かさない障害物とみなす。
 - 4) 動かさない障害物に白線で繋がれた区域はその障害物の一部とみなす。
 - (c) 地面にくい込んでいる球
規則16.3は次のように修正される。バンカーの上方の積み芝の面にくい込んだ球について罰なしの救済は認められない。
4. **コースと不可分の部分**
 - (a) 巻物、ワイヤ、ケーブル等で樹木に密着している部分
 - (b) ペナルティーエリア内にある護岸用の構築物
5. **臨時の動かさない障害物**
ローカルルールひな型F-23を適用する。
6. **クラブと球**
 - (a) 適合ドライバースヘッドリスト:ローカルルールひな型G-1を適用する。
このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰:失格
 - (b) 適合球リスト:ローカルルールひな型G-3を適用する。
このローカルルールの違反の罰:失格
7. **プレーの中断(規則5.7)**
プレーの中断および再開の通報は以下のとおり。
プレーの即時中断:1回の長いサイレン
プレーの中断:連続する3回のサイレン(繰り返し)
プレーの再開:2回のサイレン
注:危険な状況のためにプレーの即時中断をする場合、すべての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となることがある。
8. **ホールとホールの間の練習**
ローカルルールひな型I-2を適用する。
9. **移動**
ラウンド中、プレーヤーは動力付き移動機器に乗車することを認める。

競技の条件

10. 参加資格

※ NEW J-sys HDCP18.4以下の者。ただし18.5以上の者は18.4として出場できる。

注:正会員入会后3ヵ月を経過しないと出場できない

11. 競技方法

※ 予選は18ホールズストロークプレー

※ 1回戦目から決勝まではマッチプレー

マッチプレーにおけるハンディキャップは相手との差の3/4(少数1位を四捨五入)とする。

ハンディキャップは予選時点のハンディキャップを決勝まで適用する。

なお、予選競技終了後、マッチプレーのスタート時刻および組合せが発表された後は、競技での失格者が出たりマッチプレーへの出場を辞退した者が出た場合であってもマッチプレーに進出する選手は追加しない。

この場合の対戦相手は不戦勝とする。

注:決勝進出の最終人数については競技参加者の人数により競技委員会で決定する

12. 使用ティー(※今回は全日程をバミューダグリーンにて行います)

※ 使用するティマーク: 予選はレギュラーティ(白マーク)、1回戦以降はバックティ(青マーク)とする。

13. プレーイング4・縞杭の取り扱い

(a) ティーイングエリアからアウトオブバウンズになった場合は、1打罰の付加にて打ち直しを行うものとする。
(プレーイング4は使用しない)

(b) 3番ホールの、縞杭(ワンペナ杭)は使用せずあるがままの状態プレーを行うものとする。

注:プレーイング4・縞杭は動かせる障害物とする。

14. 順位の決定

(1) ストロークプレー

タイの場合はハンディキャップ順とし、さらにタイが生じた場合はマッチング・スコアカード方式により決定する。

(2) マッチプレー

規定のマッチがオールスクエアに終わったときに、どちらかのサイドが1ホール勝つまで、1ホールずつプレーを続けて決着をつける。プレーオフはそのマッチを始めた同じホールから始め、ハンディキャップマッチでは与えたり受けるべき

ハンディキャップストロークは規定のラウンドと同じとする。

※勝敗が決した場合、ただちにプレーを中止し結果を申告すること。

15. スコアカードの提出

スコアカードの提出はスコアリングエリア方式を採用する。

16. 競技終了時点

競技委員長の作成した順位表が掲示された時点をもって競技は終了したものとみなす。

注意事項

17. ローカルルールの追加、変更

ローカルルールや競技の条件に追加や変更があるときは、スターティングホール付近に掲示して告示する。

18. 練習

練習は指定練習場にて行い、打放し練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習は40球に制限する。

19. 参加の取り消し

委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことがある。

20. 行動規範

プレーヤーまたはそのキャディーにエチケット違反、または非行があった場合には「GUKの行動規範」に基づいて制裁を受けることがある。また、重大な非行があった場合には規則1.2に基づいて失格とする場合がある。

競技委員長 神谷 仁一